

令和3年度 秋田県立衛生看護学院 助産科一般入学試験問題

看護学

解答は解答用紙に記入すること。

問1 次の文の（ ）内に適切な語句を書きなさい。

- 1 臀部の筋肉内注射部位で、上後腸骨棘と上前腸骨棘を線で結び、上前腸骨棘から1/3の距離に当たる位置を（ ）という。
- 2 高齢者の表皮が菲薄化するのは（ ）が延長するためである。これにより、創傷治癒などの修復機能が低下する。
- 3 4歳の女児は発熱が続いており入院となった。原因がはっきりしておらず、咽頭培養と血液検査をすることになった。訪室し付き添いをしている母親に今後の治療や検査について説明し同意を得た。患児に対してもこれから実施する治療や検査について子どもが理解しうる内容や方法で説明し、子どもの納得を得るようにして関わった。この対応の根拠となる概念を（ ）という。
- 4 遷延分娩とは、分娩所要時間が初産婦で（ ）時間以上かかる場合をいう。
- 5 かつての習慣的な手指の動きなどを繰り返す状態のせん妄を（ ）という。

問2 ハヴィガーストの青年期の発達課題について正しいものを2つ選び、番号を書きなさい。
(Havighurst, R.J.)

- 1 経済的独立に関する自信の確立
- 2 両親やほかの大人からの情緒的独立
- 3 配偶者の選択
- 4 日常生活に必要な概念を発達させること
- 5 人格の独立性を達成すること

問3 次のうち「開かれた質問」(open question)を2つ選び、番号を書きなさい。

- 1 今日の具合はいかがですか。
- 2 今日の朝食は何を食べましたか。
- 3 昨夜は眠れましたか。
- 4 ご家族に糖尿病の方はいらっしゃいますか。
- 5 今日はどのようなことで病院にいらっしゃいましたか。

問4 ヘンダーソンの基本的ニードについて誤っているものを1つ選び、番号を書きなさい。
(Henderson, V.A.)

- 1 適切な衣類を選び、着脱する。
- 2 達成感をもたらすような仕事をする。
- 3 環境のさまざまな危険を避け、また他者を傷害しないようにする。
- 4 遊ぶ、あるいはさまざまな種類のレクリエーションに加わる。
- 5 友人や家族等の周囲の人々を援助する。

問5 保健師助産師看護師法に規定されている内容について誤っているものを1つ選び、番号を書きなさい。

- 1 保健師になろうとする者は、看護師国家試験にも合格しなければならない。
- 2 助産師は女子のみが免許を取得できる。
- 3 准看護師は都道府県が実施する准看護師試験に合格しなければならない。
- 4 守秘義務について、保健師、看護師、准看護師について規定がされている。
- 5 記録の保存は看護師の義務であると定めている。

問6 患者教育について誤っているものを2つ選び、番号を書きなさい。

- 1 患者教育の評価は患者と共に行う。
- 2 患者教育の実践過程は看護サマリーに記載する。
- 3 患者教育のプロセスは「学習目標の設定」から始まる。
- 4 患者教育にはコンプライアンスの考え方が効果的である。
- 5 患者教育における集団教育では、学習集団者の中に教育者かファシリテーターが入る。

問7 ボディメカニクスを効果的に活用する方法で誤っているものを2つ選び、番号を書きなさい。

- 1 対象を自分の身体に近づける。
- 2 移動する際は摩擦を小さくする。
- 3 対象を持ち上げるより押す・引く・転がすようにする。
- 4 自身の上半身は小さい筋群を、下半身と体幹は大きい筋群を用いる。
- 5 自身の膝と腰背部を曲げ、重心を低くする。

問8 グリーフケアについて誤っているものを2つ選び、番号を書きなさい。

- 1 死の3徴候は「心臓停止」、「呼吸停止」、「筋肉の硬直」である。
- 2 死別後の喪失に対する反応の変化を悲嘆のプロセスという。
- 3 デスエデュケーションは臨終直後から行うのが効果的である。
- 4 エンゼルメイクはグリーフケアの1つである。
- 5 グリーフワークは悲嘆プロセスの過程で回復に向けて行われる取り組みである。

問9 体温について正しいものを1つ選び、番号を書きなさい。

- 1 体温は、直腸温 > 腋窩温 > 口腔温の順番で高い。
- 2 通常基礎体温は、一般用体温計を用い口腔温を測定する。
- 3 稽留熱とは高熱で1日中の温度差が1℃以上のものをいう。
- 4 うつ熱とは熱産生量が熱放散量を上回った状態である。

問10 排尿障害について誤っているものを1つ選び、番号を書きなさい。

- 1 尿意がないにもかかわらず、排尿筋の過活動が生じ、尿が漏れてしまうことを反射性尿失禁という。
- 2 排尿困難で、排尿を試みてから排尿開始までに時間を要する状態を遷延性排尿という。
- 3 いくら努責しても全く排尿できないことを完全尿閉という。
- 4 1日の尿回数が正常より極度に少ない場合を乏尿という。

問11 口腔ケアについて誤っているものを2つ選び、番号を書きなさい。

- 1 口腔ケアの際は、口腔粘膜が損傷しないように口腔内を湿らせてから行う。
- 2 非経口摂取の患者の場合も口腔ケアは必要である。
- 3 ブラッシング方法の1つであるスクラビング法とは、歯ブラシの先を歯の表面に90度に当てて左右に動かす方法である。
- 4 片麻痺のある患者にベッド上で口腔ケアを行う場合、麻痺側が上になるように側臥位にし、顔を健側に向ける。
- 5 義歯を清掃する場合、歯磨き剤を使用して行う。

問12 一次救命処置について誤っているものを1つ選び、番号を書きなさい。

- 1 異物除去時、効果的な方法として、背部叩打法と腹部突き上げ法がある。
- 2 脊髄損傷が疑われる場合は、下顎挙上法による気道確保を行う。
- 3 胸骨圧迫実施時は、対象者が柔らかいベッド上にいる場合、背部の下に固い背板などを挿入する。
- 4 胸骨圧迫実施時、施術者の肩が胸骨の真上になる姿勢をとり、両肘を伸ばし圧力が垂直にかかるようにする。
- 5 胸骨圧迫と人工呼吸は30：2で実施し、少なくとも3cm沈むように圧迫する。

問13 輸血法について誤っているものを1つ選び、番号を書きなさい。

- 1 血漿製剤は-20℃以下で保存し、採血後1年以内に使用する。
- 2 輸血の援助は、原則として血液製剤の受け渡し時、輸血準備時、輸血実施時に2人で声を出し合って確認をする。
- 3 赤血球製剤・血小板用輸血セットには共に、フィブリン塊やマクロアグリゲート(大凝集塊)を除去する目的として濾過網がついている。
- 4 輸血後の副作用で移植片対宿主病<GVHD>は、輸血後24時間以内に起こる。

問14 与薬について誤っているものを1つ選び、番号を書きなさい。

- 1 食間薬とは、食後2～3時間経過したときに服用する。
- 2 薬剤の指示は、薬物を取り出す時、準備する時、戻す時または空アンプルを捨てる時の3回、6Rで確認する。
- 3 臥床して服薬する場合は、ベッドを軽度挙上し、頸部前屈位にする。
- 4 直腸内与薬は、対象者に口呼吸をしてもらい、坐薬を実施者の利き手で直腸壁に沿って肛門から約3～6cm挿入する。
- 5 2種類の薬液を点眼する場合、1つ目の点眼後1分間閉眼したのち、2つ目の薬液を点眼する。

問15 心電図検査について誤っているものを1つ選び、番号を書きなさい。

- 1 12誘導において、緑色の単極誘導(V₃)は第5肋間と左鎖骨中線の交点に装着する。
- 2 心電図波形の記録用紙は1マス0.04秒で、25マスで1秒である。
- 3 心電図波形において、QRSは両心室の興奮(収縮)を示している。
- 4 電解質異常や薬剤の副作用、自律神経系の緊張異常の判定などの目的でも実施される。

問16 次のうち正しいものを2つ選び、番号を書きなさい。

- 1 抗甲状腺ホルモン薬の副作用には、顆粒球増加があるため発熱に注意する。
- 2 放射性ヨウ素内用療法を受ける場合は、治療開始1週間前からヨウ素の摂取を制限する。
- 3 甲状腺切除術後は、徐脈や便秘など甲状腺クリーゼの出現に注意する。
- 4 甲状腺切除術後の体位は、頸部の伸展を避ける。
- 5 甲状腺機能検査を受ける患者の検査食は蛋白制限食である。

問17 糖尿病患者のシックデイへの対処法について誤っているものを1つ選び、番号を書きなさい。

- 1 食事が摂れない場合は、直ちにインスリン注射を中止する。
- 2 血糖または尿糖を4～6時間毎に確認する。
- 3 水分を2時間毎に摂取し、1日に1,500～2,000mLの水分を摂取する。
- 4 安静を保つ。

問18 経尿道的前立腺切除術を受ける患者の看護について誤っているものを1つ選び、番号を書きなさい。

- 1 低ナトリウム血症によるショック症状の出現に注意する。
- 2 手術後は水分摂取を促す。
- 3 排便時の努責を避ける。
- 4 手術後に起こる尿失禁は溢流性であることが多く、骨盤底筋体操が効果的である。

問19 浮腫とその発生機序の組み合わせで誤っているものを1つ選び、番号を書きなさい。

- | | | |
|-----------------|----|-------------------|
| 1 心不全に伴う浮腫 | —— | 毛細血管静水圧の低下 |
| 2 ネフローゼ症候群に伴う浮腫 | —— | 血漿膠質浸透圧の低下 |
| 3 乳癌術後の浮腫 | —— | リンパ管の閉塞によるリンパ流の停滞 |
| 4 肝硬変に伴う浮腫 | —— | 門脈圧の上昇 |

問20 心筋梗塞後の心臓リハビリテーションについて誤っているものを1つ選び、番号を書きなさい。

- 1 運動療法の強度は、脈拍が120/分を超えない範囲で、軽く汗ばむ程度が望ましい。
- 2 高血圧がある場合は、塩分摂取は8g以下に制限する。
- 3 喫煙は動脈硬化の危険因子となるため、急性期からの介入で強力に是正していく。
- 4 胸痛発作時に亜硝酸薬を使用する場合は、血圧低下に注意する。

問21 抗がん剤投与時の看護師の対応で正しいものを2つ選び、番号を書きなさい。

- 1 中心静脈カテーテルの管理で、脂肪乳剤の投与に使用したチューブは72時間以内に交換する。
- 2 抗がん剤の血管外露出が出現した場合、静脈輸液ルートから血液の逆流を確認し抗がん剤を継続する。
- 3 輸液投与開始後に息苦しさや皮膚の紅潮がみられた場合、輸液の速度を下げ投与する。
- 4 抗がん剤の多くは、投与量の10%が投与後2日の間に尿中に排泄されるため、排泄物の処理の指導を行う。
- 5 抗がん剤の副作用で悪心・嘔吐が強いときは、無理に食べなくてもよいと話す。

次の事例を読み、問22～問23に答えなさい。

55歳の女性。胃がんと診断され、開腹術にて胃全摘術を受けた。

問22 手術後24時間以内の腹腔内ドレーンからの正常な排液はどれか1つ選び、番号を書きなさい。

- 1 鮮紅色
- 2 赤褐色
- 3 灰白色
- 4 淡褐色

問23 手術後4日目、胃透視検査を実施。通過障害も認められず3分粥が開始となった。開始時の食事指導について誤っているものを2つ選び、番号を書きなさい。

- 1 よく嚙んで食べることを伝え、間食も勧める。
- 2 早期ダンピング症状として冷汗や動悸、頻脈といった低血糖症状の出現に注意する。
- 3 食後30～60分は食事時よりも上体を下げ、セミファロー位とし安静にする。
- 4 水分の摂取は食間とし、味噌汁は食事開始時は避ける。
- 5 ダンピング症状が出現した場合などは、家族へも食事や対処方法を指導する。

問24 慢性閉塞性肺疾患(COPD)について正しいものを2つ選び、番号を書きなさい。

- 1 慢性期では喫煙習慣の見直しを行い、増悪予防に努め、患者のコンプライアンスを高めるよう援助する。
- 2 在宅酸素療法では火元と酸素の機器を1 m以上離し、ガスコンロやろうそく、線香の火に十分注意する。
- 3 急性増悪では、低酸素血症や高二酸化炭素血症により不安定な精神状態になりやすい。
- 4 不可逆的な経過をたどるため、呼吸状態が安定しても罹患以前の機能を取り戻すことは難しい。
- 5 退院後、運動は低酸素血症や呼吸困難を引き起こすため禁忌である。

問25 乳がんについて誤っているものを2つ選び、番号を書きなさい。

- 1 近年、わが国において閉経後の乳がん症例が増加傾向である。
- 2 喫煙は乳がんの高危険因子である。
- 3 閉経前の女性では、月経開始から3日以内に自己検診を行う。
- 4 センチネルリンパ節生検により腋窩の郭清範囲を決める。
- 5 手術後は患肢が疲れたら腕を下げ休息するよう指導する。

問26 次のうち誤っているものを2つ選び、番号を書きなさい。

- 1 加齢黄斑変性症は視野の中心部よりもその周囲が見えにくくなる。
- 2 緑内障では眼圧が21mmHg以上に上昇する。
- 3 高齢者では明暗順応が延長する。
- 4 老人性難聴は内耳と中枢性神経系の機能低下による感音性難聴である。
- 5 高齢者は、4,000Hz以上の聴力低下が顕著である。

次の事例を読み、問27～問28に答えなさい。

Aさん、92歳、女性。要支援2である。ある日の夕方、転倒し動けなくなったため、救急搬送された。診察の結果、左足大腿骨頸部骨折と診断された。完全骨折であるが転位は認められなかった。

問27 Aさんの骨折についてGarden Stageの分類で正しいものを1つ選び、番号を書きなさい。

- 1 Garden Stage I
- 2 Garden Stage II
- 3 Garden Stage III
- 4 Garden Stage IV

問28 Aさんは人工骨頭置換術を受けた。術後の看護で誤っているものを1つ選び、番号を書きなさい。

- 1 腓骨神経麻痺の予防のため、クッションなどを用いて中間位をとる。
- 2 日常生活動作では、股関節が90度以上屈曲するような姿勢は避けるよう指導する。
- 3 環境の劇的な変化によりせん妄のリスクが高まるため、予防と早期発見に努める。
- 4 股関節の屈曲・内旋・外転により股関節脱臼をおこさないよう、両下肢の間に三角枕を入れる。

問29 Kさん、80歳、男性。初期の認知症。温泉へ家族と出かけたが、待ち合わせの時間を30分程過ぎても出てこないため、先に出た息子が様子を見に行ったところ、Kさんは自分の服を置いた場所がわからず、裸で脱衣所の中をウロウロしていた。その後、息子に手伝ってもらい、どうにか更衣を済ませた。入浴時は丁寧に洗髪をしたり、楽しく他の客と山菜の話をしていた。

Kさんの障害されている記憶機能を1つ選び、番号を書きなさい。

- 1 意味記憶
- 2 陳述記憶
- 3 手続き記憶
- 4 エピソード記憶

問30 児の免疫に関する説明について正しいものを2つ選び、番号を書きなさい。

- 1 胎児期は胎盤を通じて母体からIgGを受け取る。
- 2 出生後は母乳からIgMを受け取る。
- 3 生後3か月頃に免疫グロブリンが最も少なくなる。
- 4 1歳頃からIgAの産生が盛んになる。
- 5 3歳頃にIgAが成人と同じレベルに達する。

問31 小児によく見られる感染症について正しいものを1つ選び、番号を書きなさい。

- 1 急性中耳炎は鼓膜の外側の炎症で、上気道感染に引き続き起こすことが多い。
- 2 かぜ症候群の原因微生物にはロタウイルス、ノロウイルスがある。
- 3 無菌性髄膜炎は後遺症として水頭症や知的障害を残すことがある。
- 4 流行性耳下腺炎は飛沫感染で、感染力があるのは耳下腺が腫脹してから9日までである。
- 5 麻疹の感染力はカタル期に最も強く、およそ発疹の出る4日前から5日後まで感染力がある。

問32 Aちゃん、2歳0か月の女兒。昨日から下痢と嘔吐を繰り返し、食事が摂れなくなったため、母親に抱かれて小児科外来を受診した。診察の結果、ウイルス性胃腸炎と診断され入院した。入院時体温38.2℃、呼吸数36/分、心拍数136/分。一週間前の保育所の身体計測では身長89cm、体重12.0kgであった。個室管理とし、点滴静脈内注射による持続輸液が開始された。Aちゃんの入院時の体重は11.6kg。皮膚の状態は前腕をつまむとすぐもどる。尿検査のための採尿パックを貼ると黄色の尿が10mL採取された。Aちゃんは診察と処置が行われている間、ずっと母親に抱かれており、涙で頬を濡らしていた。

Aちゃんのアセスメントで正しいものを1つ選び、番号を書きなさい。

- 1 脱水症状はない。
- 2 軽度脱水である。
- 3 中等度脱水である。
- 4 重度脱水である。

問33 2～3歳児の発達と看護について正しいものを1つ選び、番号を書きなさい。

- 1 身体発育のバランス評価は、ローレル指数を用いる。
- 2 大泉門は脱水症状の観察に用いる。
- 3 2～3歳で、上下14本ずつ計28本の乳歯が生えそろふ。
- 4 一般的な目安として、2歳頃にはひとり歩きができるようになる。
- 5 夜尿は3歳までは生理的なものとみなされる。

問34 ドメスティック・バイオレンス<DV>について誤っているものを2つ選び、番号を書きなさい。

- 1 DV防止法は男性被害者も適用対象となる。
- 2 威嚇や脅しなどの言葉は精神的DVに含まれる。
- 3 できるだけ支援者が主導権を握り、物事を進めていく。
- 4 「嫌なことは忘れて元気を出して下さい」など、励ましの言葉を多く使い対応する。
- 5 日本では女性に対する暴力スクリーニング尺度<VAWS>が使用されている。

問35 妊娠糖尿病<GDM>について正しいものを2つ選び、番号を書きなさい。

- 1 妊娠糖尿病<GDM>とは糖尿病と診断されている女性が妊娠した場合をいう。
- 2 空腹時血糖のスクリーニング検査値から診断される。
- 3 母体への影響として羊水過多症がある。
- 4 新生児への影響として巨大児が挙げられる。
- 5 治療は食事療法と経口血糖下降薬の投与となる。

問36 妊娠期の栄養について誤っているものを2つ選び、番号を書きなさい。

- 1 妊娠初期の必要エネルギー付加量は50kcal/日である。
- 2 妊娠初期には、ビタミンAを多く摂るように勧める。
- 3 全妊娠期間を通してカルシウムの付加量は100mg/日である。
- 4 葉酸は不足することで二分脊椎などの神経管閉鎖障害の発症リスクが高まる。
- 5 蛋白質は妊婦に対する付加量があるが、脂質と炭水化物は妊婦への付加量はない。

問37 分娩経過と新生児の健康状態への影響で誤っているものを1つ選び、番号を書きなさい。

- | | | |
|--------|----|-----------|
| 1 前期破水 | —— | 新生児感染症 |
| 2 羊水混濁 | —— | 胎児アルカローシス |
| 3 肩甲難産 | —— | 鎖骨骨折 |
| 4 吸引分娩 | —— | 帽状腱膜下血腫 |

問38 帝王切開後の看護で適切なものを2つ選び、番号を書きなさい。

- 1 初回歩行後に膀胱留置カテーテルを抜去する。
- 2 全身状態が良ければ、産褥1日目からシャワー浴を行う。
- 3 創痛がなくなってから授乳を開始する。
- 4 児がNICUに入院した場合は面会時間を調整する。
- 5 退院後に出産体験の振り返りを行う。

問39 30歳の初産婦。事務職。妊娠32週の妊婦健康診査では血圧130/78mmHg、尿蛋白（－）、尿糖（－）、浮腫（＋）であった。子宮底長は30cm、腹囲88cm、身長156cm、非妊時の体重53kgで今回は60kgで、2週間前の妊婦健康診査から0.8kg増加していた。超音波検査の結果、胎児の推定体重は1,200gであった。

妊娠32週の母児の状況について正しいものを2つ選びなさい。

- 1 妊婦の体重増加量は適正である。
- 2 妊娠高血圧症候群の症状はみられていない。
- 3 産前休暇の取得が可能な時期である。
- 4 胎児の推定体重は週数相当である。
- 5 胎児はサーファクタントを産生し始めている。

問40 妊娠38週3日。朝6時に「お湯が流れた感じがする」と話し、その後夫に付き添われ入院となった。入院時の診察では、子宮口開大2cmで児髪を触知でき、BTB試験紙は青変した。陣痛周期は7～8分であり、下腹部や腰部の痛みを伴っているが、自力歩行はできている。産婦は「どう痛みと付き合っていけばいいのか心配」と話している。付き添っている夫も「何かしてあげたいが、何をすればいいかわからない」と話している。体温36.9℃、今は羊水の流出はない。胎児心拍の異常は認められない。

入院時のケアとして正しいものを2つ選び、番号を書きなさい。

- 1 分娩進行状況について夫にも随時説明する。
- 2 尿意を感じたら車いすですぐトイレへ移動する。
- 3 不安な夫の代わりに腰部のマッサージを行う。
- 4 発汗がある場合にはタオルを用いて全身清拭を行う。
- 5 眠気がある場合は睡眠がとれるよう病室への訪室を控える。

問41 生後24時間以内の新生児の所見として注意が必要なものを1つ選び、番号を書きなさい。

- 1 透明なものを1回嘔吐した。
- 2 肉眼的黄疸がある。
- 3 眠っているときの心拍数が100/分である。
- 4 出生後から排尿が2回みられた。
- 5 臍帯が乾燥している。

問42 経膣分娩後4日目の初産婦。里帰りせず、自宅に退院する予定である。保健指導の内容で誤っているものを1つ選び、番号を書きなさい。

- 1 「悪露の量が多くても問題はありません」
- 2 「お母さんは、1か月健診までは湯船につかるのはやめましょう」
- 3 「赤ちゃんが欲しがるときに欲しがらだけ授乳をしましょう」
- 4 「赤ちゃんの沐浴は毎日同じような時間に行いましょう」

問43 次のうち誤っているものを1つ選び、番号を書きなさい。

- 1 災害派遣精神医療チーム(DPAT)は、被災地域の都道府県からの派遣要請を受け発災後72時間以内に先遣隊が派遣される。
- 2 「災害時こころの情報支援センター」は、心のケアに関する全国的な機関として国立精神・神経医療研究センター内に設置されている。
- 3 災害救援者が特殊な状況下の活動で感じる心理的負担を惨事ストレスという。
- 4 災害時の心理的変化は、①幻滅期、②ハネムーン期、③茫然自失期と進むとされる。

問44 こころの防衛機制とその行動の組み合わせで正しいものを2つ選び、番号を書きなさい。

- 1 置き換え —— 破壊的衝動をスポーツや文化的な活動に向ける
- 2 反動形成 —— 妹が生まれた兄が、赤ちゃん返りをする
- 3 抑圧 —— 嫌な思い出を忘れる
- 4 代償 —— 運動は苦手だが、勉強でよい成績をとる
- 5 合理化 —— 嫌いな人に対して、必要以上に丁寧に接する

問45 Aさん、19歳、女性、大学生。両親と3人で暮らしている。Aさんは、「脳が抜き取られる」と言い大学に行かず家にひきこもるようになった。両親が心配して精神科病院を受診させ、統合失調症と診断され任意入院となった。入院後、看護師が訪室すると、Aさんは「誰かに見張られていて怖い」と言う。

看護師の対応で適切なものを1つ選び、番号を書きなさい。

- 1 「お部屋をかえましょう」
- 2 「気にしなくて大丈夫です」
- 3 「見張られているのですね。つらいですね」
- 4 「見張っている人はいませんよ」

問46 うつ病患者への認知行動療法で最も期待される効果を1つ選び、番号を書きなさい。

- 1 物事の捉え方のゆがみが修正される。
- 2 自分で緊張を和らげることができる。
- 3 薬物への依存の問題と向き合い、解決できる。
- 4 とらわれを打破し、あるがままの状態を受け入れることができる。